

- 問1 周防国（現在の山口県）から「海塩二斗」を都へ送ったことを示す「木簡」が発見されているように、地方の特産品を徴収した律令制の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- 都での労働の代わりに、布を納めることで免除される税であった。
 - 各地の特産品を、納税者が自ら都まで運搬して納める義務であった。
 - 地方で年間60日を限度に、土木工事などの労働に従事する義務であった。
 - 収穫した稲の約3%を、地方の国衙にある倉庫に納めた。
- 問2 710年に現在の奈良県に遷都された平城京は、当時の東アジアにおいて強大な影響力を持っていたある国の都をモデルに設計されました。そのモデルとなった国の名前と、都の名称の正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
- 唐の長安
 - 隋の長安
 - 唐の洛陽
 - 隋の大興城
- 問3 8世紀の日本において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことのり）や大仏造立の詔を出した歴史的背景と目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- 日本古来の神々と仏教を一体とする考え方を広めることで、地方の豪族が持つ独自の宗教的権威を否定するため。
 - 寺院に国民の戸籍を管理させる制度を整えることで、税の徴収を確実にし、幕府の財政基盤を強固にするため。
 - 戦乱で亡くなった多くの武士や民衆を供養し、極楽往生を願う念仏の教えを全国の農民に普及させるため。
 - 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。
- 問4 日本と大陸の交流の変遷をまとめた記録において、894年に菅原道真が使節の派遣停止を建議した理由と、その後の文化への影響として正しいものはどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
- 明との貿易において勘合符の使用が義務付けられたため派遣を中止し、禅宗の影響を受けた東山文化が栄えた。
 - 隋の滅亡による混乱を避けるために派遣を中止し、貴族を中心とした大陸風の文化がさらに強まった。
 - 唐の衰退や航路の危険を理由に派遣を中止し、その後の日本で独自の国風文化が発達する契機となった。
 - 元軍の侵攻によって交流が断絶されたため派遣を中止し、武士の精神を重んじる鎌倉文化が成立した。
- 問5 律令制度のもと、主に東国（現在の関東地方など）から徴用され、九州北部の沿岸を警備する任務についた兵士を何と呼びますか。彼らは白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅からの侵攻に備えるために配置されました。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
- 防人
 - 衛士
 - 健児
 - 検非違使
- 問6 743年に「墾田永年私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。
 - 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。
 - 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。
 - 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。
- 問7 奈良時代、律令国家としての体制が整う中で、『古事記』や『日本書紀』が編纂された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
- 防人や貴族など、幅広い身分の人々が詠んだ和歌を収集し、文化を保存するため
 - 仏教による鎮護国家の思想を広め、社会の不安や疫病を鎮めるため
 - 地方の産物や地理、伝承などを記録して、中央政府が地方の実態を把握するため
 - 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため
- 問8 島根県の伝統芸能である石見神楽には、ヤマタノオロチ退治などの演目があります。これらの演目の題材となっている日本神話が記された、奈良時代に成立した歴史書はどれか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- 古事記
 - 懐風藻
 - 日本書紀
 - 万葉集
- 問9 律令制における税の仕組みについて、都での労役の代わりに布を納める「庸」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
- 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の倉庫へ納める負担。
 - 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。
 - 各地の絹や布、糸、海産物などの特産物を都まで運んで納める負担。
 - 国司の命令により、地方での土木工事などのために年間60日以内働く負担。
- 問10 聖武天皇が東大寺の大仏を造立した背景や当時の社会状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）
- 国家の力だけで建設を進めるため、行基などの僧侶が民衆に協力を呼びかけることは禁止された。
 - この大仏は、運慶や快慶などの彫刻家を中心となって、武士の気風を反映して造られた。
 - 大仏の建立は、紫式部が源氏物語を執筆し、国風文化が全盛を迎えた時期に行われた。
 - 天皇は、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じ、東大寺をその中心に据えた。
- 問11 奈良時代にまとめられた日本最古の歴史書の一つで、日本神話を題材とした内容が記されている書物を次の中から選びなさい。（2020年 島根県公立入試 類似）
- 日本書紀
 - 風土記
 - 古事記
 - 万葉集
- 問12 奈良時代の文化が、のちの平安時代に栄えた「国風文化」と比較して「国際色豊かな文化」と評される最大の要因は何か。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 遣唐使が唐の都である長安の国際的な文化や、西アジア、インドなどから伝わった文物を日本へ持ち帰ったから。
 - 独自の文字である「かな文字」が考案されたことで、日本の風土に合った文学作品が数多く生まれたから。
 - 幕府がキリスト教を禁止し、出島を通じたオランダや中国との貿易のみを許可する政策をとったから。
 - 平氏による日宋貿易が盛んになり、中国から宋銭や陶磁器が大量に流入して庶民の生活を変えたから。
- 問13 東大寺の正倉院には、ペルシャ風の文様が施された水差しや、熱帯地方を原産とする木材を用いた楽器など、アジア各地との交流を物語る品々が数多く納められています。このような、遣唐使などを通じて異国の文化を積極的に取り入れた天平文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
- 平安貴族の生活に基づいた、日本独自の国風文化
 - 唐の影響を強く受けた、国際色豊かな文化
 - 町人の経済力を背景とした、華やかな元禄文化
 - 禅宗の影響を受けた、簡素で力強い武家文化